

# パスコ・ロジスティクス様 独自の取組みご紹介

## 車種や配送ルートによって アラーム設定をきめ細かく変更

車種ごとに異なるトルク特性に応じて、また配送ルートや荷の重さに応じて、アラームが鳴るエンジン回転数をきめ細かく変更。ドライバーにとってストレスのない運転性と経済運転の両立を図っています。現在の設定値は6種類。「事務所のパソコンで設定が簡単に変更できる。燃費効果も期待しています」。



ネットワーク上で細かい設定が可能

## より明確な作業の進捗状況把握のために 配送先の店舗を地点登録

納品先のコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどを店舗名で地点登録。作業の進捗状況がより具体的に把握できると好評です。定時店着を目指した運行管理が、容易になります。



安全・確実な運行を見守る皆さん

# 荷主様向け動態表示

## 荷主様との情報共有機能

専用URLを発行し、荷主様に通知することにより、荷主様に関する配送車両の情報のみを共有することが可能。

### 簡単発行、すぐに情報共有

「乗務員」「温度」など、車両に関するすべての情報でも、「位置情報」のみでも、状況に応じて共有することが可能。

専用URLは、1URLに対し10アクセスまで可能。荷主様は複数の端末からアクセスできます。

荷主様と情報を共有することで、荷待ち時間の低減を図れたり、突発的なトラブル時でも効率的に報告できます。

### 【事業者側】



### 【荷主様側】



# 富士通 ネットワーク型デジタコ



# 高度活用術4 / 荷主様との情報共有



荷主様



運行管理者



荷主様とのリアルタイムな情報共有により、各種業務の効率化を図る。ネットワーク型デジタコならではのメリットを活かしているパスコ・ロジスティクス様。その運用方法を取材させていただきました。

### ● お問い合わせ先

### ■ 製品・サービスについてのお問い合わせは



株式会社 トランストロン

情報サービス営業部

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-15-16 NMF新横浜ビル

TEL.045-476-4640 FAX.045-476-5023

http://www.transtron.com/

注)掲載内容は取材当時のものです。そのため、製品・サービスおよび取材先の所属などにおいて内容が変更されている場合がありますので予めご了承ください。(取材日:2017年4月)

### クラウド型ネットワーク運行支援サービス



### ドラレコ搭載ネットワーク型デジタコ



DTS-D1D

DTS-C1D

# 「リアルタイムに必要な情報を荷主様と共有。 生産性向上と安全運転徹底を実現」

定時店着が求められる、店舗配送。渋滞や車両トラブルなどへの素早い対応も欠かせません。

他社製カード型デジタコからドラレコ搭載ネットワーク型デジタコ「DTS-D1D」に切り換えられた、パスコ・ロジスティクス様ではネットワーク型のメリットを活かして、荷主様とリアルタイムに情報を共有、安全運転の徹底を実現されています。

## 運行状況をリアルタイムに荷主様と共有



パスコ・ロジスティクス 利根営業所  
統括課長 亀井英幸様(左)、輸送課課長 佐藤恵祐様(右)



敷島製パン パスコイーストカンパニー  
物流管理課長 佐々木利幸様

### ◆渋滞や車両トラブルへの対応が圧倒的に早い◆

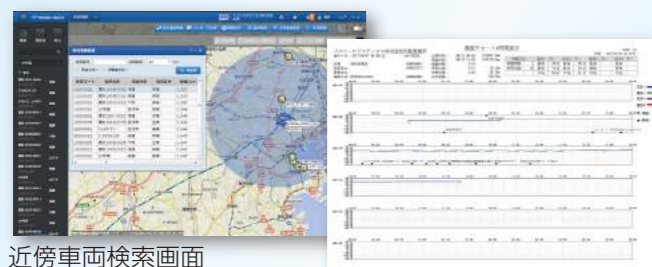


交通渋滞などが発生した場合には、対象車両にメッセージを送信して、迂回路を指示。各ドライバーに電話で指示していた従来と比べて、手間も時間も大幅に減らしました。

さらに遅配が起きそうな場合には、荷主の佐々木様に連絡。「慌てることなく、ゆとりをもって配送ができる」とドライバーにも好評です。



毎日何十件もの配送を行うため、車両はエンジンオン/オフの連続です。点検・メンテナンスを徹底していても、車両トラブルが起きることもあります。そんな時でも、近傍車両検索で最寄りの車両をすぐに応援に向かわせられるので安心です。



近傍車両検索画面

温度管理帳票

### ◆温度管理の面でも情報共有



荷室の温度異常があった場合には、車両にメッセージを送信して設定温度などの確認を促します。また毎月、輸送品質の証明として温度管理データを荷主様に提供しています。

### ◆作業の集中時間に事前準備が可能

荷積み・荷卸しが集中する時間帯にも、動態把握機能が活躍します。車両の現在地を見ながら、商品の受け渡しの事前準備ができるので、作業が効率的に進められるようになりました。



### ◆月一度のミーティングも実施

データの共有・やり取りだけでなく、月に一度はパスコ・ロジスティクスとミーティングを実施。デジタコデータも参考にしながら、各種報告とともに今後の改善点を話し合っています。

## 安全運転の徹底のために動画をフル活用

### ◆違反があると動画をチェックして 帰庫時に指導

違反運転のアラームが鳴ると動画をチェック。必要に応じて、帰庫時に安全運転指導を実施しています。動画を見れば、仕方のない違反なのか、ドライバーに原因があるのか一目瞭然。理解を促す効果的な指導が行えると、満足いただいています。



### ◆赤外線カメラで運転姿勢や指差し呼称を 抜き打ちチェック

パスコ・ロジスティクス様では、運転席撮影用に装備された赤外線カメラを有効活用。ランダムに車両を選んで運転姿勢などの抜き打ちチェックを行っています。

亀井課長様にお聞きしました。「当社では安全運転のために、指差し呼称を実施しています。それが実際に行われているか、また正しい運転姿勢がとれているか抜き打ちで確認し、指導に役立っています」。



夜間でも運転席全体を捉える赤外線カメラ

### ◆ヒヤリハットの映像で 定期的に危険予知訓練を実施

実際の運行の中でヒヤリハット映像があれば、月一度行う安全運転ミーティングの時に、危険予知訓練(KYT)の教材として活用。ドライバー全員の安全意識の向上を図っています。また、赤外線カメラで撮影した優秀ドライバーの運転姿勢映像なども活用して、指差し呼称を徹底されています。



前方映像をHD動画で捉える  
92万画素の高画質デジタルカメラ

## USER PROFILE

### パスコ・ロジスティクス株式会社

Pasco敷島製パン株式会社様の物流会社として、取引企業や工場間の原料輸送、工場からコンビニエンスストアやスーパーマーケットなどへの店舗配送を行っているパスコ・ロジスティクス様。5つの拠点、188台の車両で、東日本全域の配送エリアをカバーされています。

設立：1998年3月  
本社所在地：神奈川県海老名市中央2-5-28  
取材先：利根営業所(千葉県野田市中里2766)  
代表者：代表取締役社長 今井 正秋  
資本金：8,000万円  
売上高：約45億円(2016年8月期)  
従業員数：294名

